

エジプトの人買い

Ver. 16/11/28

3～5 人、30 分、10 歳以上

概要

あなたはエジプト人となり、他国の娘をマーケットで買いあさる。望まれる娘ほど高値が付くだろう。配られるリソースが戦略の鍵となる。他プレイヤーの煽りに惑わされてはいけない。

このゲームは、4 の娘から昇順に 13 の娘まで、ひとりずつ競りを行い、手に入れていきます。手札は基本的には 1 枚あたり 1 金ですが、対応する数字の娘の競りを行っている時は、その娘に対応するカードは 2 金の価値があります。例えば、4 の娘を競っているとき、4 のカードは 1 枚あたり 2 金ですが、4 以外のカードは 1 枚あたり 1 金です。娘を競り落としたプレイヤーは、対応する娘チップを受け取ります。13 まで競りを行い、ラウンド終了です。ラウンド終了時、娘チップと手札ボーナスの合計値が最も高いプレイヤーは 1 ポイント獲得です。ラウンドを繰り返し、2 ポイント先取したプレイヤーの勝ちとなります。

ゲームに必要なもの

・チキンダイスゲームズの「エジプトの花嫁」

ゲームの準備

場の中央に娘チップを昇順に並べます。カードを裏向きにしてよく混ぜ、全員に規定枚数配ります。配られたカードは手札になります。

3 人プレイ…25 枚ずつ

4 人プレイ…21 枚ずつ

5 人プレイ…17 枚ずつ

余りのカードがあればそのラウンドでは使いませんので、箱に閉まっておいください。最近娘を買った人が最初のラウンドの最初の競りの最初の手番プレイヤーです。よくわからない場合は、じゃんけん等で決めてください。

ゲームの進行

4 から 13 まで昇順に競りを行います。手番プレイヤーは手札をよく見て、娘の入札価格を口頭で宣言します。カードを見せる必要はありません。入札価格が宣言されると、手番は左隣のプレイヤーに移ります。新たに手番になったプレイヤーは、現在の入札価格を上回る価格を入札するか、この娘から手を引くかを決めなければなりません。娘から手を引いたら、その競りでは自分の番はまわってきません。最後のひとりになったプレイヤーは、競りの対象の娘を落札したということで、対応する娘チップを受け取ります。

このゲームの競りでは、競りに参加したプレイヤーは全員、入札価格を銀行に払わなくてはいけません。娘を落札できても、娘を落札できな

かったとしてもです。落札者が決まると、競りに参加したプレイヤーは入札価格を手札から銀行に支払います。支払うカードは、公開しなければなりません。銀行に支払われたカードは、裏向きにしてひとまとめにして、脇に除けておきます。

娘を競り落としたプレイヤーは、次の競りの最初の手番プレイヤーとなります。もし、銀行への支払いでお金が足りないプレイヤーが現れた場合、そのプレイヤーは脱落です。そのラウンドではそれ以降の競りに参加できませんし、そのプレイヤーがどれほど娘を買っていたように、そのラウンドでポイントを獲得することはできません。脱落したプレイヤー以外で、最も合計値の高いプレイヤーがポイントを獲得します。

なお、競りの最初の手番プレイヤーは、手札を持っているなら、必ず入札しなくてはなりません。

ポイントが入り、ラウンドを繰り返す

13 まで競りを終えると、各プレイヤーは獲得した娘チップの数値を合計します。もし、ラウンド終了時に手札を持っているなら、3 枚あたり手札ボーナス 1 点とします。端数は切り捨てです。娘チップと手札ボーナスの合計値の最も高いプレイヤーが 1 ポイント獲得となります。ポイントを獲得したプレイヤーは次のラウンドの最初の競りの最初の手番プレイヤーです。

誰も 2 ポイントに達していないなら、全てのカードを集め、混ぜ、既定枚数配り直し、余ったカードを箱にしまい、次のラウンドを行います。ポイントは、紙に書くなどしておく和良好的でしょう。

細則

・銀行に入札価格を支払うとき、カードは分割できません。例えば、13 の娘の競りで入札価格が 1 金、手札に 13 のカードが 1 枚しかない場合、その 13 のカードを銀行に支払わなければなりません。

・ラウンド終了時、ポイントを獲得するのはひとりだけです。ポイントを獲得するのは、合計値が単独で最も高いプレイヤーでなければなりません。もし、最も合計値の高いプレイヤーが複数人いた場合、そのラウンドでは誰もポイントを獲得しません。この場合、次のラウンドの最初の競りの最初の手番プレイヤーは、前のラウンドで最後に競り落とされた娘を競り落としたプレイヤーとなります。

・落札したプレイヤーの手札が尽き、まだ競りが残っている（ラウンドが終わっていない）場合、落札したプレイヤーから時計回りに見て一番近くの手札を持っているプレイヤーが、次の競りの最初の手番プレイヤーとなります。

ゲームデザイン：蜂須賀敏浩

2016, トイドロップ <http://toydrop.jp/>